

マンスリータイムズ

8月号 県立はまゆう支援学校

8月！！ 猛暑の夏、夏季休業中の活動。

- 夏季水泳 7/25（月）～7/29（金）・8/1（月）：6日間（小・中・高 各2日ずつ実施）
- 育友会、あけぼの園へのプール開放：7/25（月）～8/5（金）の10日間（土・日は除く）。
- 職員の夏季保育（サマースクール）へのボランティア活動。
- はまゆう支援学校同窓会。

★ はまゆう支援学校 '11年度 同窓会 ★

8月13日（土）に、毎年恒例のはまゆう支援学校同窓会を開催しました。

平成22年度末で本校の卒業生は、587名を数えますが、毎年お盆期間中の開催ということで、和歌山市等遠方で働いている皆さんも帰省して、今回も100名を越える大勢の卒業生の参加がありました。また以前、はまゆうで教鞭をとられていた先生方を含め、現職の教員も多数参加して、大変賑やかな雰囲気です。会が始まりました。

会場では、近い年代ごとにテーブルを囲み、食事の最中やイベントの間など、皆それぞれ思い思いの時間に互いの近況を報告しあったり、在学当時を振り返るなど、思い出話に花が咲きました。

毎年、参加者が一番楽しみにしているのがカラオケタイム。司会の教員の合図と共に、我先にとエントリーを行い、順番を待つ人で長蛇の列ができました。得意のダンスや声量のある歌声で周囲の視線を釘付けにするなど芸達者な方が多く、まさに“ザ・宴会！”を満喫していました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に、来年度の同窓会を担当する同窓会長と副会長を選び、再会を約束して今年度の同窓会は終了しました。来年は、8月12日（日）を予定しています。

★ 夏季保育 ～子どもたちは、地域で楽しく過ごしました～ ★

「夏季保育」とは、地域の特別支援学級や特別支援学校（南紀支援学校・はまゆう支援学校）の児童生徒を対象とした日中活動の取り組みです。長い夏休み、生活リズムを崩さず、また、地域でのびのびと活動に参加して、充実した日々を送れるよう、各市町（白浜町、上大中＝上富田・旧大塔村・旧中辺路町、田辺市、みなべ町）が中心となって様々な活動に取り組んでいます。「水あそび（プール・川・海）」「絵本の読み聞かせ」「うた・リズム」「工作」「調理（おやつ作り）」「キャンプ」「水族館見学」等々。

本校からも児童生徒が多数参加し、楽しい時間を過ごしました。職員もボランティアとして参加し、学校を離れ地域で見せる普段とは違った子どもたちの仕草、表情などに触れ、新たな発見をたくさんしました。

夏季保育は、子どもたちにとって、楽しく元気に過ごすことができる活動の場であるとともに、地域で生きる子どもたちの今後の支援にも繋がる貴重な活動となっています。

★ 高校生防災スクール ～生徒会役員が参加しました～ ★

8月19日、南部高校で開催された「高校生防災スクール」に、本校からも生徒会役員5名が参加しました。この防災スクールは、近い将来起こると予想されている東南海・南海地震を想定した避難訓練をとおして、災害に関する意識を高めるとともに、高校生などの若い力が災害時に救助活動等を担うことを目標とした取り組みです。

講話では、『紀州梅の里救助隊』の東日本大震災救援活動の様子を聞きました。写真やイラストで車が流され、家屋が倒壊した様子などを見ることで、改めて地震や津波の恐ろしさを実感しました。また、地震のメカニズムや防災対策についても意識を高めることができました。

負傷者搬送方法と応急手当の実技演習では、南部高校の生徒が中心になって講習を行い、毛布や長い棒など、身近なものを使った搬送方法や包帯の巻き方などを教えてもらいました。

最後に、全体で地震が起こったことを想定し、近くの高台までの避難する訓練も行いました。

長い一日となりましたが、生徒会のメンバーは学校でも講習で覚えた搬送方や応急手当を実演し、災害時における自分たちの役割を意識することができました。